

## 日商簿記模擬試験プログラム 動作確認用プログラム操作マニュアル

### 1. 動作確認用プログラム（以下、「本プログラム」という。）につきまして

本プログラムは、「資格の大原」が日商簿記検定3級および2級のネット試験対策として開発した  
下記商品の動作確認用プログラムです。

- ・ 3級模擬試験プログラム
- ・ 2級模擬試験プログラム

上記商品をお買い上げいただく前に、本プログラムが正常に動作することをご確認ください。

### 2. 動作環境

動作環境は以下の通りです。

Windows 10・11

（ARM版 Windows および MacOS には対応していません）

### 3. 本プログラムの利用手順

(1) 本プログラムをパソコンにダウンロードします。

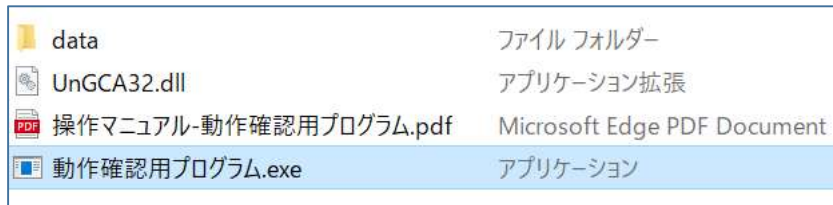


(2) ダウンロードしたファイルを任意のフォルダに解凍します。



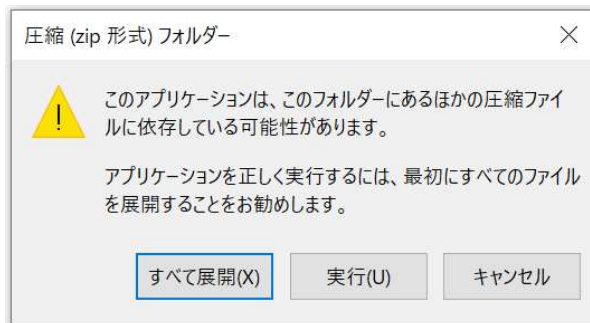
# 資格の大原

「動作確認用プログラム.exe」をダブルクリックしてください。

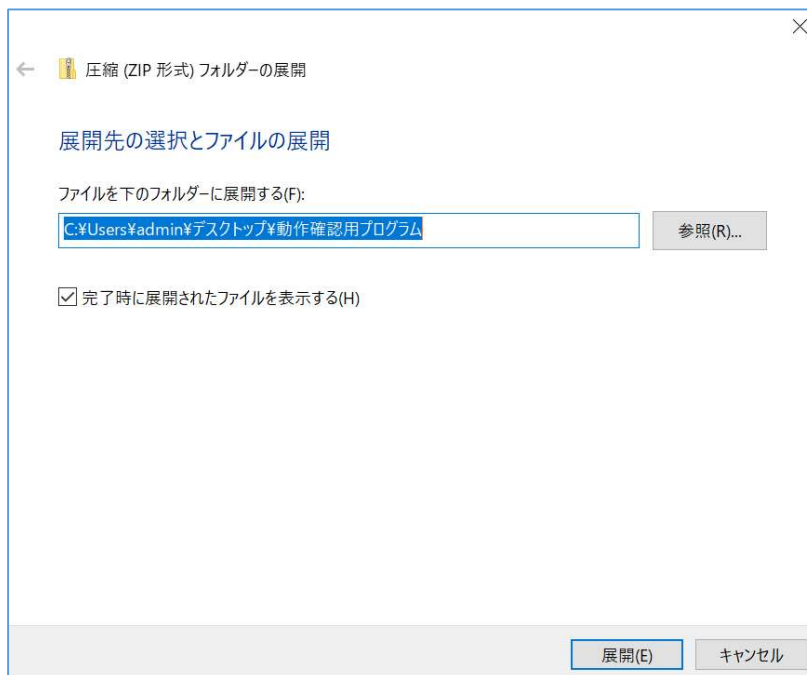


※data フォルダなど、ダウンロードしたファイルは削除せずにそのままにしておいてください。

※解凍時に下記のようなメッセージが表示されることがありますが、すべて展開してください。



任意のフォルダに解凍してください。



※data フォルダなど、ダウンロードしたファイルは削除せずにそのままにしておいてください。

# 資格の大原

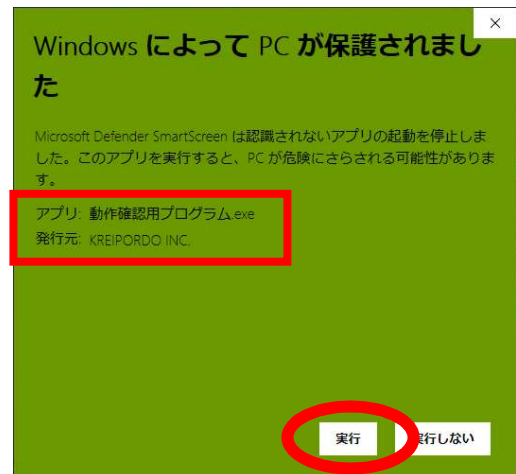
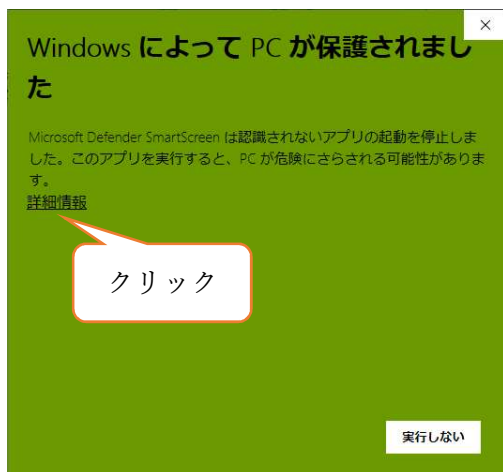
(3) 解凍したフォルダ内の「動作確認用プログラム.exe」をダブルクリックして本プログラムを起動してください。



## 【本プログラム起動の際の注意事項】

本プログラムを起動する際は、起動中の他のアプリケーションをすべて終了してください。他のアプリケーションを起動させたまま「試験開始」をすると、正常に作動せず、画面操作ができなくなります。

※起動時に下記のようなメッセージが表示されることがありますが、この場合には「詳細情報」をクリックし、次画面で表示されるアプリ、発行元が下記のように表示されることをご確認ください、「実行」してください。



# 資格の大原

- (4) [解答にあたっての注意事項]をご確認いただいた後、「試験開始」ボタンをクリックしてスタートしてください。

日商簿記3級 動作確認用プログラム

模擬試験開始

模擬試験を開始する準備が整いました。  
[試験開始]ボタンをクリックすると開始いたします。

模擬試験時間は60分間です。  
※模擬試験問題が画面に表示し終わった時点から試験時間を計測します。  
※試験時間が経過すると**模擬試験は自動的に終了**し、解答が送信されます。

**【解答にあたっての注意事項】**

- 金額を入力する欄には、数字のみ入力してください(文字やマーク等を入力してしまうと不正解となります)。
- 以下の[望ましい解答例]のとおり、仕訳問題における各設問の解答にあたっては、各勘定科目の使用は1回までとしてください(各設問につき同じ勘定科目を2回使用してしまうと不正解となります)。

**【望ましい解答例:各勘定科目を1回しか使用していない】**

勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金	10	売上	100
売掛金	90		

**【望ましくない解答例:同じ勘定科目を2回使用している】**

勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金	10	売上	10
売掛金	90	売上	90

試験開始

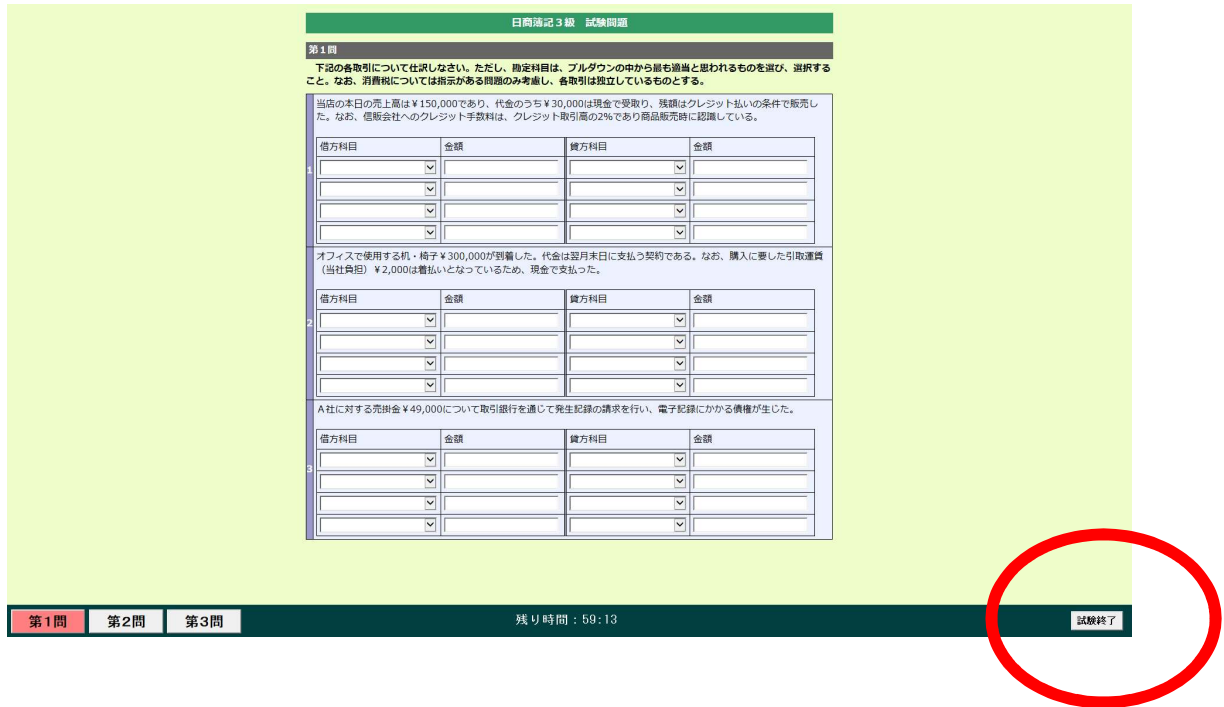
- (5) 試験が開始されます。問題文に従って解答します。

## 【注意事項】

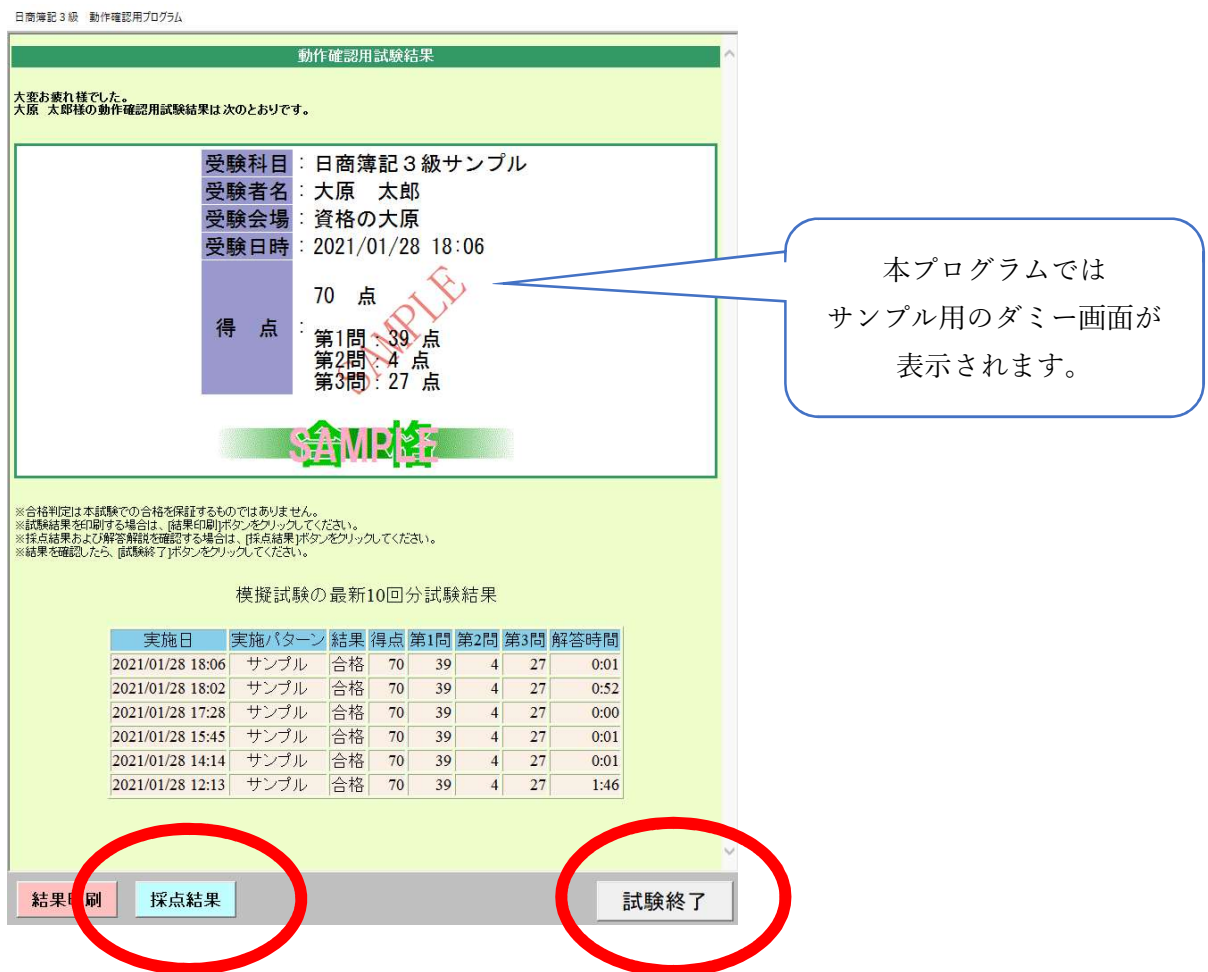
本プログラムは動作確認用として、試験問題数を限定しております。  
実際の試験問題・内容・出題数とは異なります。

# 資格の大原

(6) 試験は、試験時間が終了するか、「試験終了」ボタンをクリックすることで終了します。



(7) 試験結果画面が表示されます。



# 資格の大原

- ① 「採点結果」 ボタンをクリックすると、ご自身が入力した解答の正解、不正解が確認できます。

日商簿記3級 試験問題

第1問

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、プルダウンの中から最も適当と思われるものを選び、選択すること。なお、消費税については指示がある問題のみ考慮し、各取引は独立しているものとする。

当店の本日の売上高は¥150,000であり、代金のうち¥30,000は現金で受取り、残額はクレジット払いの条件で販売した。なお、信販会社へのクレジット手数料は、クレジット取引高の2%であり商品販売時に認識している。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	30,000	現金	150,000
クレジット売掛金	117,000		
支払手数料	3,000		

オフィスで使用する机・椅子¥300,000が到着した。代金は翌月末日に支払う契約である。なお、購入に要した引取運賃(当社負担) ¥2,000は精払いとなっているため、現金で支払った。

借方科目	金額	貸方科目	金額
備品	302,000	未払金	300,000
		現金	2,000

A社に対する売掛金 ¥49,000について取引銀行を通じて発生記録の請求を行い、電子記録にかかる債権が生じた。

借方科目	金額	貸方科目	金額
電子記録債権	49,000	売掛金	49,000

第1問 第2問 第3問 採点結果詳細 解説表示 試験結果

- ② さらに「解説表示」 ボタンをクリックすると、模範解答と解説を確認できます。

日商簿記3級 試験問題

第1問

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、プルダウンの中から最も適当と思われるものを選び、選択すること。なお、消費税については指示がある問題のみ考慮し、各取引は独立しているものとする。

当店の本日の売上高は¥150,000であり、代金のうち¥30,000は現金で受取り、残額はクレジット払いの条件で販売した。なお、信販会社へのクレジット手数料は、クレジット取引高の2%であり商品販売時に認識している。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	30,000	売上	150,000
クレジット売掛金	117,000		
支払手数料	2,400		

商品売上げ、代金の一部を現金で受取り、残金をクレジット払いの条件で販売した問題である。  
 商品を売上げたときには、売上勘定(収益)の貸方に記録する。また、代金の一部を現金で受取ったため現金勘定(資産)の借方に記録する。残金はクレジット払いとしたため手数料を差引いた手取額をクレジット売掛金勘定(資産)の借方に記録し、手数料を支払手数料勘定(費用)の借方に記録する。  
 クレジット取引高 ¥150,000 - ¥30,000 = ¥120,000  
 売上代金 現金受取り  
 支払手数料 ¥120,000 × 2% = ¥2,400  
 クレジット売掛金 ¥120,000 - ¥2,400 = ¥117,600

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	30,000	売上	150,000
クレジット売掛金	117,600		
支払手数料	2,400		

第1問 第2問 第3問 採点結果詳細 解説表示 試験結果

- ③ 「試験結果」 ボタンをクリックすると、試験結果画面に戻ります。
- ④ 「試験終了」 ボタンをクリックすると、本プログラムが終了します。
- ※結果印刷ボタンから試験結果画面の印刷も可能です。